

内容	保護者の方々からの意見	学校からの回答
関する あいさつについて	旗当番の時など、挨拶を自分からする子、挨拶を返してくれる子が少ないので、進んでできるようになるといいなと思います。	あいさつについては、本校でも日頃から指導を行っています。月の生活目標として意識させたり、委員会の児童を中心とした朝のあいさつ運動を実施したりするなど、あいさつを習慣づける機会を設けています。 一方で、ご指摘のように、地域の中で子供たちが自発的にあいさつをする姿が少ないという声をいただいております。学校内ではあいさつができています。学校外では意識が薄れてしまうことがあるのかもしれません。 今後も朝のあいさつ運動などの機会を活用し、地域の皆様との関わりの中でも、子供たちが進んであいさつできるよう働きかけていきます。 あいさつを進んでほしいという気持ちは、学校も同じです。しかし、あいさつは学校だけが指導することで身に付くものではありません。保護者の皆様や地域の方々にも、ぜひ積極的に子供たちに声をかけていただけると嬉しく思います。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。
	朝の旗当番で、子供達から挨拶することはほぼない。	
	旗当番の時に、自分から挨拶をする子、挨拶を返してくれる子が少ないので、進んでできるといいなと思います。 挨拶について、旗当番で学校前の信号の担当になっていますが、自ら挨拶をしてくれる児童は1人か2人程度です。挨拶して返してくれる児童は1割以下です。なぜ大森小学校の児童は挨拶が出来ないのでしょうか。近隣の小学生のお母さん達からはみんな元気な挨拶に返っていると聞きますし、久喜地域の小学生ですが、信号のない横断歩道で停車すると渡りきった後に振り返ってお辞儀をしてくれる児童も何度か見かけました。こんなに違うのは何故か...不思議でなりません。 何度か子供達に聞いてみたことがあります。なんでみんな挨拶しないの？と。すると、学校ではしてる、先生にはしている、などと言っていました。先生が見ているから、先生に注意されるからでは全く意味がありません。なぜ挨拶することが大切なのか、納得し、理解し、心に入っていないければ、大切に出なくても無理はありません。 家庭と学校と協力しながら、しっかり身につけることが出来たら嬉しいですね。	
関する「学習用端末」について	タブレット学習について 宿題までタブレットですと、ネットに繋がりにくく自宅で見届け出来ない時があります。学校でも自宅でもタブレットを使用する頻度が多く、親としては発達途中の子供たちには目や脳に良い影響がないのでは。（体験を重視していただきたいです。）というデメリットが心配になります。ICTやタブレットを使用するにしても、効果的だと思われる最低限に留め、ICTが目的ではなく、手段として正しく使用される事を望みます。	ICTを活用した学習は、子供たちが主体的に学びを深めたり、理解を助けたりする有効な手段の一つとして、本校でも活用を進めています。タブレットは「学習用端末」として使用することとしており、「学習を目的とする」というルールのもと、適切な使い方を指導しております。 学習以外の用途に使用したり、使用時間が過度に長かったりするような児童がいる場合は、個別に指導していきます。ただし、家庭での使用に関しては、「学習用端末である」というルールに沿って、ご家庭ごとに管理していただくことが基本となります。学校でも指導しますが、タブレットの使用時間の制限等については、各ご家庭でお子様と話し合いながら、適切に調整していただければと思います。 今後も、タブレット学習の適切な活用について、学校と家庭が連携しながら取り組んでいければと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
	いつもお世話になっております。 学習用端末を持ち帰ってきていますが、使用時間等制限がかけられない為、注意をしてもずっと使用し続けてしまい、家庭での学習が進められなくなってしまいました。ゲーム要素が進められる学習アプリもありますが、家庭ではゲームやタブレットは時間の制限をかけている為、学習でも使えるようにもなり、帰宅後も休みの日も何時間でも使用出来ることに大変困っています。 今後の対応を検討して頂きたいです。ご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願いいたします。	
	ICTの導入は素晴らしいと思います。AIエンジニアとかになって欲しいと思ってたので。	
関する「旗当番」について	取り組みとは関係ないかと思いますが、共働き家庭にとって旗当番は会社を休職しなければならないので厳しいです。	旗当番のご負担についてのご意見をいただきありがとうございます。共働きのご家庭にとって、平日の当番は大変なこと存じます。 旗当番の割り振りについてはPTAの管轄となっており、学校では決定権を持っていないため、PTA役員会が協議される内容となります。お手数ですが、今後の運営についてご要望がある場合は、PTAを通じてご相談いただければと思います。 学校としても、保護者の皆様のご負担を理解しつつ、安全な登下校のためにできる協力を続けてまいります。
関する「登下校」について	帰り道で止まったりはみ出たりして車の邪魔や低学年の進行を止めてしまう子供がいる。 時に車に向かって大声を出したり、傘を突き出したり、タクシーに向かって「ヘイタクシー！」としてしまう子も。軽く注意してもまたやったりするのなぜダメなのか再度教えてあげてください。	登下校時の児童の様子について、ご報告いただきありがとうございます。安全な登下校は非常に大切であり、本校でも一斉下校等を活用して定期的に指導を行っています。 ご指摘いただいたような、車に向かって大声を出したり、傘を突き出したりする行動は、大きな事故につながる可能性があるため、学校としても危機感を持って対応してまいります。特に「なぜダメなのか」を子供たちが理解し、自分事として考えられるよう、改めて指導を強化していきます。 ただ、こうした行動は、子供自身が次の日には忘れてしまうことも多く、早めの対応が大切です。もし同様の事象がありましたら、できるだけ早く学校までご連絡いただけますと、より迅速に対応することが出来ます。 今後も、地域の皆様と連携しながら、子供たちが安全に登下校できる環境をつくっていきたくと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。
	登校班の見直し、指導をしてほしい。うちの班は班長副班長がほほいしないしても他の班に走って行ってしまふ。	登校班についてのご意見をいただき、ありがとうございます。 登校班の見直しにつきましては、PTA地区役員の管轄となっております。学校にご連絡いただければ、学校から地区役員へお伝えすることもできますし、保護者の方から直接ご相談いただくことも可能です。 また、登校班の指導につきましては、学校で対応いたしますので、問題がありましたら早めにご連絡いただけますと助かります。安全な登校ができるよう、引き続き指導を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
関する「時間割」「給食」について	グループ給食について 他市でも、かなり前からグループ給食を解禁し、給食を楽しむお話ししながら食べています。「おいしいね」など和気あいあいとマナーを守ってお友達と給食を食べる事も、子供たちの情操教育のためにも、望ましいなと感じます。この子達は、高学年を除きほとんどの子がグループ給食を一度も経験していないかと思います。食事をみんなで楽しむ機会を再度検討していただきますと幸いです。 給食の時間が遅すぎる。家が遠い分早い時間に食べさせて家も出て行くのに食べる時間が遅いので心配になる。	給食の時間を大切にしたいというお考え、ありがとうございます。食事をみんなで楽しみながら、マナーを学ぶことの重要性については、学校としても共感するところです。 本校では、学級の様子や子供たちの実態に応じて、給食の形態を判断しており、グループ給食を行っているクラスもあれば、前向き給食を継続しているクラスもあります。現時点では、学校全体で統一した方針を定めておらず、各学級の判断に委ねている状況です。 いただいたご意見を参考にしながら、今後の給食のあり方についても引き続き検討してまいります。ご心配な点がありましたら、担任とも相談していただければと思います。
	給食時間（食べる時間）をあと10分くらい伸ばして欲しい	貴重なご意見をありがとうございます。給食は、子供たちにとって大切な時間であり、楽しく、落ち着いて食べられる環境づくりを大切にしたいと考えています。 本校では、学習時間とのバランスを考慮しながら時間割を設定しており、現在の給食時間を変更する予定はありません。しかし、配膳や準備の流れをよりスムーズに進めることで、実際に食べる時間をしっかりと確保できるように工夫していきます。給食当番の動き方や準備の仕方について、引き続き指導を充実させ、子供たちが落ち着いて食事できる環境を整えてまいります。 今後も、子供たちの様子を見守りながら、より良い運営を目指していきます。ご意見をありがとうございます。
	午前中授業を4時間授業にし、給食を早くはじめてほしい	時間割についてのご意見をいただき、ありがとうございます。給食時間や授業時間の配分について、子供たちの学習環境をより良くしたいというお気持ちを受け止めます。 本校では、午前中の学習時間を確保し、集中して取り組めるようにするために、午前5時間・午後1時間の授業構成としています。この取り組みは、文部科学省の「学校働き方フォーラム」においても、全国で広がっている事例の一つとして紹介されています。午前中という子供たちが最も集中できる時間帯に学習を進めることができる点が、大きなメリットとされています。 また、この時間割によって、下校時刻を早めることで、教員の指導準備や研修の時間を確保し、より質の高い教育を提供できるという側面もあります。こうした点を踏まえ、本校では現在の時間割を継続する方針です。 給食時間についても、配膳や準備の流れを工夫しながら運営していきます。引き続き、子供たちの様子を見守りながら、より良い学校運営に努めてまいります。
	他校のように4時間授業後の給食にしてほしい。13時は遅すぎます。後半はお腹が空きすぎて、授業に集中できない時があるようです。	運動会へのご意見をありがとうございます。当日は天候の心配もある中、たくさんのご声援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。 運動会の運営にあたっては、限られた時間の中で全ての競技を進行する必要があり、競技間の時間をできるだけ短縮しながら運営しております。そのため、各競技の進行が早く感じられたかもしれません。特に徒競走では、学年の入れ替えや写真撮影のタイミングが分りづらかったというご意見を受け止め、今後の運営の中で改善策を検討してまいります。 例えば、学年ごとのアナウンスをより明確にすることや、写真撮影のタイミングが分りやすくなるような工夫を考えていきたいです。今後も、子供たちにとってより良い運動会になるよう努力してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
関する「運動会」について	運動会では天候も心配があったからなのか、徒競走などの学年が走っているのか分りにくくいし、写真を撮る場所の保護者の入れ替えをしている時間もなかったです。学年と学年の間が早くすぎて、気づいたから走っていた感じです。来年は改善希望といいなと思います。	運動会へのご意見をありがとうございます。当日は天候の心配もある中、たくさんのご声援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。 運動会の運営にあたっては、限られた時間の中で全ての競技を進行する必要があり、競技間の時間をできるだけ短縮しながら運営しております。そのため、各競技の進行が早く感じられたかもしれません。特に徒競走では、学年の入れ替えや写真撮影のタイミングが分りづらかったというご意見を受け止め、今後の運営の中で改善策を検討してまいります。 例えば、学年ごとのアナウンスをより明確にすることや、写真撮影のタイミングが分りやすくなるような工夫を考えていきたいです。今後も、子供たちにとってより良い運動会になるよう努力してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
	運動会について 徒競走の順位についてです。順位をつけているのにも関わらず、明らかに2位でゴールをしていても、係の子に4位に連れられて行かれてしまい、事実との差が大きいくとも悲しんでいました。徒競走の判定の先生はお一人で口だけで伝え、係の子供たちがわがが分らず適当に順位へ連れて行くので、間違えが多かったように感じます。ビデオ判定までは求めませんが、担当の先生を増やすか係の子と先生とペアで責任を持って、なるべく正しい判定にできる工夫を講じていただけますと有り難いです。午前中開催で、時間がタイトなのも分りますが、子供たちも1番に「！」と思いをかけて走っているかと思えますので御配慮いただきたいです。徒競走をスタートで『位置について』の言葉を短縮するならば、大玉送りの教員のキャラクター演技を手短かにしてもらえたらと感じます	運動会へのご意見をありがとうございます。当日は天候の心配もある中、たくさんのご声援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。 運動会へのご意見をありがとうございます。運動会では、子供たちが全力を尽くして競技に臨んでおり、順位を正確に判定することの大切さを改めて感じております。 徒競走の順位判定は、決勝係の児童が担当し、教員がサポートする形で行っていますが、運営上、どうしてもミスが発生する場面があることを課題として認識しております。来年度は、決勝係の児童への指導をより充実させるとともに、担当教員との打ち合わせを事前に綿密に行い、ミスを防げるよう努めてまいります。 (大玉送りの教員演技について) また、大玉送りの教員演技についてのご意見もありがとうございます。教職員による演出は、運動会を盛り上げ、子供たちが楽しく参加できるようにという思いから実施しているものです。今年も、「とても楽しかった」「来年度は何をやするのか楽しみ」という声も多く寄せられました。 限られた時間の中で運動会を運営しているため、すべての競技を公平に進めることが求められますが、子供たちが楽しい思い出を作れるよう、今後も工夫を重ねていきたいと考えております。
関する「上履き」について	あまり関係ありませんが、室内履きをシューズではなく上履きにしてほしい。(毎週洗うのが大変で、乾かす時間もするため)	本校では数年前より、体育館の床が滑りやすいことから、児童の安全を考慮し、一般的な上履きではなくシューズタイプの室内履きを推奨してまいりました。特に体育の授業や日常の活動の中で、滑りにくく安定した履き物の方が、転倒による怪我の防止につながるかと考えているからです。 しかしながら、シューズタイプの使用は強制ではなく、あくまでも推奨であり、一般的な上履きを使用していただくことも可能です。ご家庭の状況に応じて、ご判断いただければと思います。
関する「ランドセル」について	夏の登校をリュックかランドセルか選べるようにしてほしい	貴重なご意見をありがとうございます。夏の登校時にリュックを使用したいというご要望について、まずはその理由や背景について詳しく伺いたいと考えております。例えば、暑さ対策や身体への負担軽減といった理由がある場合、児童の安全や健康を考慮し、個別の対応が可能なケースもあると考えています。 本校では、基本的にはランドセルを使用することをお願いしておりますが、特別な事情がある場合は個別に対応いたしますので、担任または学校までご相談ください。

関 する こ と に つ い て	算数で行われている自分達で考える授業のやり方はよくないと思う。きちんと理解ができないまま終わることが多々あり、『分からない』が増え、成績は下がったと思う。ほとんど分かってない単元もあり家庭で一から教えることもあり困っている。実験的に行わないでほしい、きちんとフォローをしてほしい。	貴重なご意見をありがとうございます。本校では、子供たちが自ら考え、学び合う力を育むことを目的とした授業形態に取り組んでおります。これにより、単なる暗記ではなく、問題を解決する力や思考力を身につけることを大切にしています。 保護者の皆様のご心配についても真摯に受け止めておりますが、学力調査の結果や質問紙調査をもとにした分析では、平均点の低下は見られず、学習意欲についても微増していることが分かっています。 とはいえ、授業の進め方には児童一人ひとりの理解度に応じたフォローが必要であることも十分承知しております。今後とも、学習の定着を図るための支援を充実させるとともに、学年・ブロックでの教員間の連携を強化し、学級ごとの差異をできるだけ少なくするよう努めてまいります。 また、お子様が「分からない」と感じていることがありましたら、家庭学習の負担が過度にならないよう、学校でも適切にフォローできるようにしていきたいと考えています。具体的に困っている点がありましたら、ぜひ担任や学校までお知らせください。
	算数は補助の先生も居てくれたら助かります。	貴重なご意見をありがとうございます。児童一人ひとりの理解を深めるために補助の先生がいることが望ましいというお気持ちは、私たちも十分に理解しております。 現在、本校では介助員4名、学習補助員2名を配置しておりますが、それぞれの職員は特別支援学級や多数人数級の支援にあたっている状況です。そのため、算数の授業に補助教員を配置することは、現時点では難しい状況となっております。 お子様が「分からない」と感じていることがありましたら、授業の中で解決できるように取り組んでまいりますので、具体的な内容を担任までお知らせいただければと思います。
	漢字ドリルが復活して良かったです。 自主学習をやらなくて 宿題を多く出して欲しい	ご意見をありがとうございます。家庭学習のあり方については、これまでも様々なご意見をいただいております。 本校では、「宿題」という学校からの一律の課題を課すことが、子供たちの学力向上に直結するわけではないと考えております。むしろ、自ら学ぶ力を育むこそが、将来的に学習を続ける力となると捉え、自主学習の習慣を大切にしている方針を取っています。 また、学校では授業を通じて子供たちの学力保障に努めており、その中で必要な課題や学習方法についても指導しています。家庭学習は、あくまでご家庭での教育の一環であり、各ご家庭の方針のもとで進めていただくものと考えています。 「自主学習をやらなければ宿題を多く出す」という方法を取ることは、子供たちの主体的な学びを促すという本校の方針とは異なるため、一律に宿題を増やすことは考えておりません。ただし、学習習慣を身につけることは大切ですので、お子様の状況に応じて、具体的に担任へご相談いただければ、適切なアドバイスをさせていただきます。
	英語の授業はリスニングと会話を積極的にさせて欲しい	貴重なご意見をありがとうございます。 外国語活動（3・4年生）および外国語（5・6年生）の授業は、それぞれの学年に応じた目標に基づいて指導を行っています。 3・4年生の外国語活動では、「外国語に慣れ親しむ」ことを大切に、主に「話す」「聞く」活動を中心に進めています。一方で、2020年度からの学習指導要領改訂により、5・6年生では「話す」「聞く」に加えて、「読む」「書く」も扱うことになり、中学校の英語学習へスムーズにつなげるための基礎を養うことが求められています。 このため、以前よりも「話す」「聞く」の活動に割ける時間が減っているのは事実ですが、それでも可能な限り実践的な英語を使う機会を設けながら、バランスよく学べるように工夫しています。 また、本校ではAFT（外国語指導助手）やデジタル教材を活用し、楽しく、実際に使える英語を学べるような授業を進めています。引き続き、英語を「使う」楽しさを感じながら、スムーズに中学校英語へ移行できる指導を心がけてまいります。
関 する こ と に つ い て	夏の下校前に、塩分タブレットとか食べれるようにしてほしい（家が遠いため熱中症がこわいです）	貴重なご意見をありがとうございます。 本校では、熱中症対策として、熱中症指数を毎日確認し、運動の制限・中止の判断を行ったり、水筒にスポーツドリンクを入れることを許可したりするなど、児童の健康を守るための対応を進めています。 塩分補給の必要性についても理解しておりますが、一定のルールを設け、それを遵守していただけることを前提としたうえで、塩分タブレットの持参を認める方向で検討したいと考えています。 具体的には、 1. 持参は1日2粒程度までとし、必要以上の摂取を避ける 2. 登下校時に限り摂取を認め、授業中や遊び時間には食べない 3. 友達同士で分け合うことを禁止する（アレルギーや誤飲の防止） といったルールを設け、安全に運用できるようにしたいと考えております。 今後、具体的なルールについては、学校医の先生や関係機関と相談しながら、児童の安全を第一に検討してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
	「Teletour」に関する記事について 学校での出来事や、先生との連携がもっと欲しい、テイルをもっと個別にも活用して欲しい。制作などに必要な材料を、わざわざ買いに行かないといけないことが多々あり、負担となっている。 学校での様子がテイルで写真が送られてくるが、だいたいいつも同じような気がするので、均等に撮るのは難しいかもしれないが、配慮してほしいなと思う。 修学旅行中、無事に宿に到着した、予定通りの学校到着などいい連絡が無く残念でした。先生方が忙しいのはわかりますが、子供を預けている身としては一言でも連絡があったら安心できました。 修学旅行当日の子供たちの様子の連絡が全然こなかった。学校側の誰一人も気づかなかったのか、なんの報告もない。 社会科見学や修学旅行での途中経過や子供の様子などが全く連絡がなかったことはとても残念でした	貴重なご意見をありがとうございます。保護者の皆様にとって、学校での子供たちの様子や活動についての情報共有が重要であることを改めて認識しました。 （「Teletour」での情報発信の経緯について） 学校として、できるだけ細かい情報をお伝えできるよう努めてまいりますが、文章の作成・確認・送信の過程に時間を要するため、頻繁な発信が難しい場合があることをご理解いただけますと幸いです。 保護者の皆様のご要望にできる限り応えられるよう工夫しつつ、学校運営全体とのバランスを取りながら情報発信を進めていきます。 （掲載する写真のバランスについて） 写真の撮影・掲載については、できる限り多くの児童が写るよう意識しながら運用を進めています。ただ、行事によっては撮影の機会が限られる場合もありますので、ご理解いただければ幸いです。 （修学旅行や社会科見学の途中報告について） 貴重なお子様をお預かりしている中で、「無事に到着した」「予定通りに進んでいる」などの連絡がないことで、ご心配をおかけしてしまったことを申し訳なく思います。 今後は、旅行や見学の途中で、短い文章でも経過報告を行うよう工夫してまいります。ただし、引率教員は安全管理を最優先とするため、リアルタイムの詳細な更新が難しいこともあることをご理解いただけますと幸いです。
関 する 学 校 と 連 に 當 つ い て	ラーケーション制度を導入してほしい	貴重なご意見をありがとうございます。 ラーケーション制度（学びのための休暇制度）につきましては、全国的にも一部の自治体で導入されている制度ですが、現在のところ、本校では独自に導入することができません。 教育委員会や行政の判断による部分が大きいため、学校単独での導入は難しい状況です。しかし、子供たちが多様な学びの機会を得られることは重要であり、学校としても、日々の授業や活動の中で充実した学びが得られるよう努めてまいります。
	先生方の人員が圧倒的に足りておらず、先生方が本来の力が発揮できていなかったり、やろうとしていることが実現できていないように感じます。それは児童の学校環境へ大きく影響すると思います。既にやって下さっているかと存じますが、市や県に働きかけていただきたいと思います。	日頃より学校教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。 ご指摘の通り、現在、本校では欠員が生じている状況もあり、教職員の人員が十分ではない中で運営を行っています。限られた人員の中でも、子供たちにとってより良い学校環境をつくるために、教職員一同で協力しながら教育活動を進めているところです。 人員の確保については、市や県の教育委員会へも引き続き働きかけを行ってまいります。しかし、すぐに増員が実現するとは限らないため、学校としても、効率的な業務の進め方を模索しながら、できる限り子供たちにとって最適な教育環境を整えていきます。 また、学校と家庭・地域が連携し、子供たちを支えていくことも大切だと考えております。今後とも、保護者の皆様のご協力をいただきながら、学校運営をより良いものにしていくよう努めてまいります。
関 する 「 教 育 」	いつも娘がお世話になっております。先生方の御指導のおかげで、とても楽しく学校生活を過ごさせていただいております。ありがとうございます。 連絡帳を通して学校の様子を詳しく教えて下さり、ありがとうございます ○年になり○○先生になり 子供がとてもやる気に満ちているのが分かります。 きちんと受け止めてくれる事が分かっていうよう 先生に質問したり話事が苦じゃないうです。楽しく学校に通っています。ありがとうございます。 いいお友達、先生に恵まれて、毎日楽しく通わせていただいています。いつもありがとうございます。 学校に行けなくなってしまった娘のために、お忙しい中相談に乗っていただき、ありがとうございます。教室に行けない子が通えるように部屋を用意してくれたりなど、対策を考えてくださり、とてもありがたいです。なんとか通えるようになると良いです。 ○年生になってから休むことが増えてしまい少し心配なのですが、休むと先生からいつも連絡をいただき、寄り添って話を聞いてくださるので、感謝しています。ありがとうございます。 子供の事を本気で考えてる先生がどんな他の学校へ行ってしまうと、今の学校は子供の事を真摯に考えていない先生が多すぎて相談も出来ない。	温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。子供たちが安心して学校生活を送れていること、また、ご家庭の皆様にとっても学校が信頼できる場となっていることを大変嬉しく思います。 学校は、子供たち一人ひとりの成長を支える場であり、教職員一同、子供たちの気持ちに寄り添いながら、日々の指導に取り組んでいます。保護者の皆様からの温かいご理解とご協力があるからこそ、より良い教育環境をつくることができている。 これらも、学校と家庭が連携しながら、子供たちの健やかな成長を支えていければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
	このたびは、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 教職員の異動により、これまで親しまれてきた先生との別れがあることは、子供たちだけでなく、保護者の皆様にとっても寂しく、不安を感じることもあるかと思えます。 しかし、学校としては、どの教職員も子供たち一人ひとりに真摯に向き合い、より良い教育環境をつくるために日々努力を重ねています。すべての先生が、子供たちの成長を支えたいという思いを持って教育活動に取り組んでおります。 もし何か不安なことやご相談がありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。子供たちが安心して学校生活を送れるよう、ご家庭と協力しながら支えていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	このたびは、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 教職員の異動により、これまで親しまれてきた先生との別れがあることは、子供たちだけでなく、保護者の皆様にとっても寂しく、不安を感じることもあるかと思えます。 しかし、学校としては、どの教職員も子供たち一人ひとりに真摯に向き合い、より良い教育環境をつくるために日々努力を重ねています。すべての先生が、子供たちの成長を支えたいという思いを持って教育活動に取り組んでおります。 もし何か不安なことやご相談がありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。子供たちが安心して学校生活を送れるよう、ご家庭と協力しながら支えていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
	担任が育児休暇に入り、2学期にやる予定の個人面談の連絡が全然こない	このたびは、大切な情報共有が遅くなり、ご不安をおかけしてしまったこととお詫言申し上げます。 担任の育児休暇に伴う体制の変更について、また個人面談の実施について、保護者の皆様に適切なタイミングでお知らせすることができず、ご心配をおかけしました。学校としても、情報共有の在り方を改めて見直し、より速やかにお伝えできるよう努めてまいります。 また、お子様の成長において大切な時期であり、ご家庭と学校が連携となりながら支えていくことの重要性を十分に認識しております。今後の対応につきましては、管理職を含め学校全体でしっかりと状況を把握し、適切なタイミングで連絡が行き届くよう改善を進めてまいります。 何かご不明な点やご不安な点がございましたら、遠慮なく学校へご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
	情報共有が遅い。担任の変更や個人面談を実施してませんが、どうするのかなど。最終学年および難しい年頃になってきている中、親も子もわからない、見えない部分があります。	このたびは、大切な情報共有が遅くなり、ご不安をおかけしてしまったこととお詫言申し上げます。 担任の育児休暇に伴う体制の変更について、また個人面談の実施について、保護者の皆様に適切なタイミングでお知らせすることができず、ご心配をおかけしました。学校としても、情報共有の在り方を改めて見直し、より速やかにお伝えできるよう努めてまいります。 また、お子様の成長において大切な時期であり、ご家庭と学校が連携となりながら支えていくことの重要性を十分に認識しております。今後の対応につきましては、管理職を含め学校全体でしっかりと状況を把握し、適切なタイミングで連絡が行き届くよう改善を進めてまいります。 何かご不明な点やご不安な点がございましたら、遠慮なく学校へご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「教職員の対応等」について	6年生という最後の年に担任が来なくなる、学級崩壊、不登校、こんな事になるとは思いませんでしたが、〇〇先生の担任になった個人面談もして先生方の安心しています。 緊急連絡先の件ですが、書いた意味ってなんですか？疑問に感じてほしかったです。残念です。	このたびは、6年生という大切な時期に担任が変更となり、お子様や保護者の皆様にご心配をおかけしました。 担任の変更に伴い、学級の安定を最優先に考え、学校全体で支援を行ってまいりました。その中で、新たに担任になった教諭が、少しでも安心して学校生活を送れるよう努めていること、ご理解をいただきありがとうございます。 学級の状況をより良くするために、今後も複数の教職員で支えながら、子供たちが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。もし何か気になることがございましたら、いつでも学校へご相談ください。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。
	まず、修学旅行でルールをきちんと守らせなかった事についてですが、携帯にカメラ。コンビニでの買い物後部屋で買ったお菓子を食べるなどのルール無視があったそうです。娘は先生に直接確認したジャンパーコンディショナー。持っていないとなつたはずが、ほぼみんな持ってきていてそれを注意しない、隣で見てみぬふりして先生を見てどう思うのかあはれてほしいです。信頼できるでしょうか？〇〇先生、ルールを守った方が損をした気持ちになさるやダメです。 前日1日持ってきたいぬと父親と揉める事態になってルールを守らなかったのに台無しです。児童に向けて持っていない言うのだけでは、テロルがあるのですからとと活発すべきかと思えます。しおりに書いてあるの以外はそのことですね。発見した場合先生が管理するなどと保護者に向けて配信するなど必要だったのでは？修学旅行はただの旅行ではないのですよね？とても残念でした。 昔と親との縁では随分考え方も違いますが、修学旅行だけではありませんが今の子達には事前指導がもっと必要なのではないでしょうか？ 旅行中の配信が一切無しのものがたくさん。忙しいしょうが、他の加須市の小学校では写真付きで何度も配信があったというのを聞くと、せめて文字だけでも欲しかったです。 更に最後の校長先生の挨拶で、生徒の個人名を出していた事にあらえないと思えました。自分の娘の事だったらクレームの電話をする所です。校長先生の立場でなくともあの挨拶はないです。不登校に繋がってたらどうしてくれるのでしょうか。泣くほど悩んで頑張ってきた事を知っていただけてとても嬉しい気持ちになりました。 そして、挨拶はすこし力を入れてきた部分かと思えますが腹当番で立ていて「おはよう」、「いってらっしゃい」と声をかけても返してくれるのは半分以上です。自分から言えずとも言われたら返せるくらいにはなっているところまで。 それから娘のクラスは結構荒れている感じですが、娘は担任の先生を悪く言う友達の言葉を聞きたくない。ふざけ、騒ぐ男子が苦手で修学旅行後は学校には行きたいと教室にいたくなくともいっています。やり直したいと先生に書いてほしいところでもあります。ずててスラムにいかずイライラしてることが多かったです。 担任代わりに入ってくれたる先生に言ってもちゃんと指導してくれない、とぼやいてました。そんな中でも〇〇先生が悩まれているけれど、アドバイスもしてもらったし、避難場所を作ってくれたとも言っていました。今は〇〇先生が担任になってくださったおかげで別人のように毎日楽しそうに通っています。〇〇先生には感謝しかります。	(修学旅行に関するご指摘について) また、お子様がクラスで同感を感じていたり、教室での雰囲気や合わないこと、担任の先生の対応が不十分だと感じたことについて、心からお詫言申し上げます。先生が悩まれている環境があったことや、先生のサポートが助けになったことに感謝していただけたことは嬉しく思います。担任が変わったことをきっかけに、お子様が毎日楽しく通うことができることを嬉しく思います。今後も、全ての児童が安心して学校生活を送れるよう、学級の環境改善に取り組む、クスの雰囲気やより良くしていく予定です。 ご指摘いただいたことを一つ一つ真摯に受け止め、今後の改善に生かしてまいります。私たちは、子供たち一人ひとりが安心して成長できる環境を作り続けるため、ご家庭との連携を大切にしています。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。
	普通級の子と支援級の子が混ざっているにたに持っているのかわからないのですが、支援級の子だけ見れば良いのでしょうか？本人もわからないと言っている、困っています。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 交流活動で必要な持ち物が特別支援学級の遵守定表に記載されておらず、分かりづらい状況になっていたこと、不便をおかけしました。今後は、特別支援学級の遵守定表にも交流活動で必要なものを記載し、分かりやすくするように配慮してまいります。 引き続き、何かお困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。
「教職員の対応等」について	担任の先生が自分のさし加減で教室内の空調を寒すぎている。最高気温12度の日でもクーラーをつけています。(時系列の天気予報で、事前に27度で確認)朝8時で通学しても平気な持好をしているクラスメイトが震え寒いと書いていた、複数名ジャンパーを着ている。授業中にクーラーをのけることもあり、ジャンパーを取り外して行くこともありますが休み時間でも震え過ぎること。周りの子何人も震え寒いと書いていたと言っています。(男女とも) 先生は自主性を重んじるために、声をあげてジャンパーを取りに行きたいとおっしゃるのもしません、が、言えない子にしています。勇気のあることですがなかなかできません。自己要因ではなく、外的要因なのだから、だまって席を立てて行くにいくの許可があるべきです。 11月の寒い日でも基本的に窓をあけ、扇風機がついているか、クーラーがついている。空調管理が異常です。SDGS的にどうなんでしょうか？ 昨年度の3学期もほぼ暖房は付かず、寒すぎて授業が聞けなかったから教えてと、休み時間クラスメイトに言われたことあるとも言っています。移動教室は暖かいので指先も冷たかった手が温かくならず幸せ、などともよく話してくれました。(11月の寒い日のことです) 先生は授業中も声を発し暑いのでしょうが半袖、長ズボンではなく、タンクトップに膝上ズボンにしてほしいと本気で思っています。でないと座学で動かない子供と調整が取れません。今の時期です。暖房では扇風機が当たらない席を切に願っている子供がかわいそうです。3学期も暖房はつけない日ばかりで最高気温が一桁でも暖房つけない日が多かったが(というか、付ける方が少数)先生は長袖を着ていて暖かいのにも納得がいけません。 昨年、常にジャンパーを着たまま教室にいるため、隣のクラスに集められた時にジャンパーのまま行ったら暑すぎて汗をかいたと話していることもありましたが、我が子がかわいそうです。授業に集中できませんし、教育環境が悪すぎます。適切な温度管理で学びやすい環境を作っていただきたいと思います。今年の冬は他のクラスと同じような温度管理がなされることを期待します。	このたびは、お子様が授業中に寒さでつらい思いをされたこと、ご心配をおかけし申し訳ありません。ご指摘いただいたように、学習環境の温度管理は非常に重要であり、児童が快適に学ぶ環境を整えることは大切です。しかしながら、児童の多くが寒さを感じてきたこと、授業に集中しづらい状況があったことについては、適切な配慮が不足していた点があったと認識しています。 今後は、(教室間でコミュニケーションを密にしたり、学級ごと)との差異が生じていないかを確認し調整する)等の対応を徹底し、学習環境の改善に努めてまいります。 ご意見を真摯に受け止め、児童が安心して学ぶ環境づくりに進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を願っています。
	近年、身体的な量より言葉による暴力が多いように感じています。ネット社会なので仕方ないとは思いますが、この言葉を使った相手はどのようなのか、自分が言われたらどう思うのか、相手の痛みを自分の痛みのように想像する力があまらずに足りないように思います。このネット社会からこそ、思った事をすくにするのではなく、一度立ち止まって考える事も必要だと、学校生活の中で学んで欲しいなと思います。	貴重なご意見をありがとうございます。言葉による暴力についての指摘、また相手の痛みを自分の痛みとして感じるものの重要性について、大変共感いたします。ネット社会の影響もあり、言葉の暴力が深刻な問題となっていることは私たち教職員も認識しており、日々の教育の中で、子供たちにその重要性を伝えしていく必要があると感じています。 今後は、道徳教育や学級活動の中で、相手の立場に立つて考える力や、ネットでのコミュニケーションの影響についても話し合い、より意識的に指導していくことが求められます。また、言葉の暴力がエスカレートしないよう、クラスでの雰囲気づくりや、個別に対応する支援も行いながら、子供たちに「思いやりのある言葉づかい」を身に付けさせていきたいと考えています。 今後も家庭や地域と連携し、相手の気持ちを考えられる子供たちを育てていくための取り組みを強化してまいります。引き続き、ご支援とご協力をいただけたら幸いです。
	子供や保護者の意向に合わせ過ぎていることにより、理想的な教育方針に従い、ただ教えるだけになっているように感じます。互いに温度が低く冷めた状態ではその場で理解することが出来るだけで、心が打たれたり損さふられたりする程度の刺激や衝撃がなければ、本質的な心からの成長は望めないのではないのでしょうか。何の問題も起きないことが良いと捉えるのは大人の都合であって、成長過程にある子供達にとっては、何か起きるからこそその経験からそれを感じることが感じ合ひ、話し合ひ、良くなることも心が打たれたことで、実体験を通して学びを得て成長するものだと思います。 小学校は、平温で切切に足を踏み入れる社会の場と言っても過言ではありません。その後の育ちにおいて非常に重要な時期だと思っています。そして、その子供達がこの国の将来を築いて支えていきます。弱さをサポートすることも必要ですが、強く生きていることを伝えることも大切です。 一方で、担任教職員が短時間で何人も入れ替わるという大人の都合による刺激や衝撃は、子供達の心の発育にとても大きな影響を及ぼしているのではないのでしょうか。至らない点も多々あると認識していますが、学校という社会の場でも経験出来ないことも多く、だからこそ勉強を教わるだけの塾でなく、学校教育が重要であり、存在意義があるのだと思っています。 家庭で対応すべきことがあれば、聞けつづらに報告や相談して頂く結構です。とても頼れる教育現場であって欲しいな願います。	貴重なご意見をありがとうございます。 学校は、子供たちにとって「学びの場」であると同時に、「初めての社会の場」でもあるという指摘に、私たちが大きく共感いたします。勉強だけでなく、人との関わりの中で学び、考え、成長する機会を大切にすることは、私たちも重要だと考えております。 一方で、学校には「子供が安心して学び、生活できる環境を整える責任」があります。そのため、トラブルが未然に防げるものについては、適切に対応し、子供たちが安心して過ごせるよう努めております。そのうえで、学校生活の中で生じるさまざまな出来事から、子供たちが乗り越え、成長につながるよう、適切に支援してまいります。 本校では、学校研究の中で非認知能力の重要性を研修し、「子供たちがこれからの社会で必要とされる力とは何か」を教職員で話し合いながら指導に生かしているところです。保護者の皆様からのご意見やご相談を大切にしながら、学校が「頼れる教育現場」として、安心してお子さまをお預けいただける環境づくりに引き続き努めてまいります。今後とも、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。
その他	口が悪いです。ダメ、死ぬ、がっ殺すぞ、など、中指を立てたり、親指を下に向けたりもします。子供から話を聞く限りでは皆がやっているそうです。家でも注意していますが、学校でも指導して頂きたいです。	言葉遣いについてのご心配、ごもっともかと思えます。学校でも、日々の指導の中で、言葉が相手に与える影響について伝えたり、相手の気持ちを考えるような発言があった際にはその都度注意を行うなど、適切な言葉遣いを促進できるような取り組みをしています。 特に近年は、ネットやメディアの影響もあり、言葉の持つ重みを実感しにくい子供もいると感じます。だからこそ、「もしも自分が言われたらどう感じるか」「どのような言葉が相手の心に残るのか」を、学校生活の中で考えさせる機会をつくっていく必要があります。 また、学校だけでなく、ご家庭でも意識してご指導いただいているとのこと、大変ありがたく思います。子供たちは家庭・学校・地域の中言葉で学んでいくため、引き続き連携しながら適切な言葉遣いができるよう支えていければと思います。何かお気づきの点があれば、いつでもご相談ください。
	大桑フェスティバル楽しみにしています	このたびは、大桑フェスティバルへのご参加、また温かいお言葉をいただきありがとうございます。おかげさまで、多くの方々に楽しんでいただき、盛況のうちに終えることができました。 今年度の運営につきましては、教職員のうちでの業務とありますが、来年度はより充実したフェスティバルにするため、保護者や地域の皆様にもご協力いただけたらと大変ありがたく思っております。ぜひご参加いただけたら幸いです。 また、運営の面では、フェスティバルの流れや参加方法について、事前の案内が不十分だった点は申し訳ございませんでした。運営についても多数反省をいただいております。ご意見を来年度に活かし、子供たちのために充実した大桑フェスティバルを開催できるように、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。
	これから行われるフェスティバルの流れが良く分からないです。親子で行動するのか、別々でいいのか、など。	このたびは、大桑フェスティバルへのご参加、また温かいお言葉をいただきありがとうございます。おかげさまで、多くの方々に楽しんでいただき、盛況のうちに終えることができました。 今年度の運営につきましては、教職員のうちでの業務とありますが、来年度はより充実したフェスティバルにするため、保護者や地域の皆様にもご協力いただけたらと大変ありがたく思っております。ぜひご参加いただけたら幸いです。 また、運営の面では、フェスティバルの流れや参加方法について、事前の案内が不十分だった点は申し訳ございませんでした。運営についても多数反省をいただいております。ご意見を来年度に活かし、子供たちのために充実した大桑フェスティバルを開催できるように、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。